

ハイクラスホテル向け下膳ロボットHolaBotをご存じですか？

3ヶ月で9^(税抜)万円！お試しキャンペーン実施中 導入効果を“見える化”し、社内検討をご支援します

※ Demo実績のない企業様向けの初回限定企画です ※北海道・沖縄地区は別途送料がかかります
※事前にWEB会議にて導入可能な環境か確認を実施いたします

「ホスピタリティ人材」

の時間はおもてなしへ

お困りごと

▶ スタッフが現場にいない時間が多くサービスが低下…

▶ バックヤードとの往復で疲弊立ち居振る舞いに影響…

▶ パッシング業務に追われ特別感のある空間演出に十分な時間が割けてない…

改善&向上

▶ 「おもてなし」の純度向上

▶ 従業員の負担軽減と離職防止

▶ 「作業」ではなく「接客」と「教育」にかかる時間を確保

▶ 経験が豊富なベテランの身体的負担軽減と雇用継続

人手不足
対策に

ホテル業界で活用され、採択率の高い補助金

経済
産業省

省力化投資補助金
(一般型)

人手不足解消と生産性向上を目的とした設備投資を支援する制度で、2026年度も継続実施される予定です

観光庁

観光地・観光産業における省力化投資補助事業

宿泊施設(ホテル・旅館)に特化した、2026年度の最新補助金です。

エリア限定:沖縄

観光事業者収益力向上サポート事業
(観光サポート2026)

観光業界において、人手不足は最大の課題です。下膳ロボットによる省力化は、この補助金の目的に一致！「観光業のためだけ」の補助金です。

※制度内容・公募条件・締切等の詳細は、各公式発表をご確認ください。

ホテル向け
モデル



導入ホテルのインタビューはこちらから ▶



稟議書	稟議番号	
	作成日	



社長	部長	申請者

件名	下膳ロボット「HolaBot」導入の件
目的	人手不足および業務効率化への対応を目的として、下膳ロボットを導入し、従業員の負担軽減とサービス品質向上を図る
内容	<p>【背景】 配膳・下膳業務に一定の工数が発生している ピークタイムに人員が不足しやすい 人件費上昇への継続的な対応が必要 下膳作業をロボットへ一部移管することで、人的リソースの接客・品質向上業務の再配置が可能となる。</p> <p>【導入効果】 例) 朝食時と夕食時の2回稼働 席数：15卓 回転率：1.6回転 1卓あたり下膳時間：4.5分 下膳の60%をロボットが担うと想定 $15卓 \times 1.6回転 = 24卓$ $24卓 \times 4.5分 = 108分$ $108分 \times 0.6 = 64.8分$ $64.8分 \times 2回稼働 = 約130分 (約2時間10分)$</p> <p>1日あたり約2時間相当の下膳工数を効率化できる想定です 1日約2時間 \times 25日 \times 時給1300円で計算した場合 \rightarrow 1ヶ月65,000円 $65,000円 \times 12ヶ月 = 約780,000円$</p> <p>年間換算で約600時間の工数削減につながることを期待できます 創出されたこの約600時間を、サービス品質向上や収益貢献業務へ振りかえることが、本取り組みの狙いです。</p>
結論	人材確保が困難な環境下において、下膳業務の自動化は持続的な店舗運営に資する投資と判断します。費用対効果および将来的な人件費抑制効果を踏まえ、導入を申請します。
特記事項	

問い合わせ

正興電機製作所(東証プライム)グループ企業

(株)正興サービス&エンジニアリング



福岡本社 〒812-0008 福岡県福岡市博多区東光二丁目7番25号 TEL: **092-411-4761** FAX: 092-411-4767

東京営業所 〒101-0031 東京都千代田区東神田1-7-8プライム東神田6階 TEL: **03-5835-1019** FAX: 03-5835-1020

(株)正興電機製作所：全国 20拠点(東京・札幌・仙台・横浜・名古屋・大阪・中国・四国・九州・沖縄他 10拠点)